

4月の野菜の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5か年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5か年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	11,066	前年並み	11,606	121	79	97	0.1	0.0	千葉、神奈川中心の入荷。3月一杯は降雨により収穫作業も進まず、だらだら出荷となる見込み。神奈川産は生育前進傾向も例年通り4月上旬で終了予定。千葉産のトンネル物は生育やや前進しており、肥大も順調。総入荷量は前年並みだが、前年より引き合い弱く、価格は前年を下回るが前年並み。上旬は神奈川産の減少により上げ気配強まるが、中旬には千葉、茨城産が本格出荷し、下げに転じる見通し。
ほうれんそう	1,156	103	1,152	609	95	490	0.3	0.0	群馬、茨城、埼玉、千葉産など関東もの中心の入荷となる。現状、冷え込みで入荷伸び悩みも、生育進捗は前年よりも前進傾向にある。切れまなく播種作業も進んでおり、気温上昇とともに潤沢な出回りが期待できる。岩手産も例年通り4月中旬に始まるが、出だしは前年より少なめ。各産地とも作付増の流れにあり、総入荷量は前年を上回り、価格は前年を下回るが、前年よりは高い見込み。上旬は強めの展開だが、増量に伴い下ながらの展開が予想される。
キャベツ類	18,567	前年並み	18,507	129	78	109	0.3	0.0	神奈川、愛知中心の入荷。各産地1週間程度生育が進んでいる。神奈川産の本春系は潤沢、愛知産の冬系は減少しながら推移するが、量的には不足なし。千葉産は播種時の天候の乱れはあるものの作付増の動きもあり、大きな減少はない模様。総入荷量はほぼ前年並み。品薄感もなく、価格は前年、前年を下回るが春商材としての荷動きは良好。上旬は千葉産の減りこみで上げ気配高まるが、中旬は反発しての下げ展開となり、下旬には愛知産の急増により再度相場は浮上と見込まれる。
ねぎ	3,688	103	3,963	329	85	251	10.1	0.3	千葉、埼玉、茨城産など関東もの中心の入荷となる。千葉産秋冬作は4月上旬でほぼ終了。千葉、茨城産の春作は前年作で、太りも2Lサイズ中心と順調。埼玉産は病害発生により、出荷量は前年を下回る見通し。総入荷量は前年をやや上回り、価格は高騰した前年を下回るのが前年よりは高い。荷動きは前年レベルだが、中国産の価格高と国産品の下等級品の引き合いもあり、価格底上げ。3月下旬～4月上旬にかけて秋冬作の品質低下と学校給食納需要も弱く、軟調推移も中旬には春作の増量と給食再開により上げに転じる見通し。
レタス類	7,417	前年並み～やや増	7,497	281	85	201	0.1	0.0	茨城、兵庫中心。茨城春レタスは前進気味で推移していたが、4月に出荷するものは前年並みの生育ペース。兵庫産は圃場によって生育進捗にバラツキはあるも総じて前年作。総入荷量は前年並み～やや増、価格は高値の前年安だが前年よりは高く堅調。相場は高めも、サラダ商材としての引き合いあり、荷動き良好の見込み。上旬は西南暖地産が絞られる中、特売等も多く、上げ気配高まるが、兵庫産の順調入荷と群馬産もスタートし、下旬は弱めの展開が予想される。
きゅうり	6,568	105～110	7,082	365	77	266	18.0	0.3	群馬、埼玉、千葉、宮崎、茨城産中心の入荷となる。西南暖地は出荷後半戦、関東産の春作は4月後半から出荷最盛期を迎える。今後、晩霜被害の懸念や一部産地では樹勢低下も見られるが、各産地ともせいりくば概ね順調。埼玉、群馬産のハウス復興もあり、総入荷量は前年を上回り、価格は高騰した前年より大幅下げだが前年より高く堅調。相場は関東産の無加温の増量に伴い下げながら推移する。東北産のハウス物も出荷始まり、日々増量。